



みんなで創る みんなで支える

# CCT 瓦版

2020年3月号

VOL:167



郷土史家  
山本郁夫先生

## 講座からのお知らせ

### 1. 3月の会議日

- 14日(土) 運営委員会 10:00～ 学生ホール  
 スポーツ部会・文化部会 9:20～ 広報部会 11:30～  
 14日(土) ふれあい部会 13:00～

### 2. 3月の不定期講座

・哲学って何	4日	水	10:30～	7110号室
・和布刈を謡う会	6・13日	金	13:30～	秋根・普賢寺
・クラシック音楽	14日	土	13:30～	2号館7階7号室
・太極拳(月)	2・9・23日	月	15:15～	さくらスタジオ
・太極拳(水)	4・11・25日	水	15:15～	さくらスタジオ
・ドイツ語・イタリア語	5・26日	木	9:30～10:40～	7110号室

### 3. 学習支援の講師を募集 (教科は問いません)

- (1) 6・11・2月期末テスト前の学習支援(中学生)月2回、1時間  
 夏休み期間中の学習支援(中学生と小学生対象)  
 (2) 自由学習塾「旻」毎週土曜日:14:00～16:00  
 事務局に届出て登録をお願いします。

### 4. 新年度のお世話係説明会を開催します。<3月21日(土)>

スポーツ部会 9:30～10:30 文化部会 11:35～12:35

### 5. 勝山芸能発表大会に金管バンドとキーボードが出演します。

3月8日(日) 9:00～ 勝山公民館

### 6. 春休みは3月29日(日)～4月3日(金)までです。

(CCT事務局) 東亜大学 7号館 7109号室 13時～15時  
 TEL: 083-250-5032 (留守番電話に)  
 Email: cct2008@water.ocn.ne.jp  
 ホームページの検索は『CCT東亜』

会員数  
 699名  
 1月31日現在

### 講座紹介

## 歴史&ウォーク



高杉晋作像

下関は、古来九州やアジア大陸の玄関口として  
 栄えてきました。

日本史において弥生・古代・中世・維新・昭和などの転換期に日本の  
 表舞台に登場するのが下関です。江戸時代には西の難波と呼ばれるほ  
 どの人や物質の集積点でもありました。晋作・龍馬・桂・西郷・中岡等  
 多くの志士たちの活躍の舞台が下関なのです。本講座はこうした偉人  
 たちが遺した下関市での足跡を明らかにし、実際にその場を訪れます。  
 偉人たちの足跡を辿りながら悠々の偉人たちに想いを馳せる時間なの  
 です。下関に遺る多くの史書や文章を・伝承等をご紹介します。

令和2年のスタートは金毘羅宮に遺る明智光秀の放生池を訪れます。



現地で講義中

あなたの知らないあっと驚く歴史に  
 出会えることでしょう。

「面白きこともなき世を(に)面白く」  
 面白く生きるのはあなた自身です。  
 本講座でお会いしましょう。

下関郷土史家

山本郁夫



## 陸曼さんの日本文化にふれて



陸 曼さん

私の来日の目的は日本文化を経験しようと思って留学しました。そして CCT のいろんな活動を知り参加しました。それは本当に楽しく感動しました。

CCT には「着付け教室」「お茶の会」「生け花教室」「いきいき」の他「世界歴史&ウォーク」「料理教室」「外国語クラブ」「折り紙教室」等想像以上に数多くの活動があり、ほとんどが 60~70 代の方々に、生き生きと活躍して生活を楽しんでいるのに感心しました。それが私に刺激を与え勇気をもらい目標を目指し楽しく活動できました。

私が参加したのは「いきいき」と「お茶の会」と「生け花教室」と「着付け教室」でした。その活動の中で日本文化をたくさん学びました。

中国での生活は仕事と家事で忙しくて運動する時間がありませんでした。「いきいき」に参加してとても身体に良かったと思います。日本に来る前より身体の調子がいいんです。

ずっと前から日本の茶道に興味を持っていました。お茶の会では和室で先生が着物を着ておられました。皆が正座をすること、そして礼儀正しいこと一つ一つのお点前はとても興味深かった。「お茶を学ぶ人は自分の振る舞い方を知っている」と文章に書いてあった通りで、私は自分の心の中が見えてきました。



生け花教室



いきいき教室

家根橋先生からも最後の結びとして茶道についてのレポートを提出するようにと勧められたのでたいへん

勉強になりました。

この度の日本行きは一口では言い表せないほど数多くの方々にお世話になって、色々な援助を得ました。本当に心からありがたいと思いました。

皆さんどうもありがとうございました。またいつか会いましょう。



お茶の会



短期留学生 陸 曼